

CREATORS in NANKOIN ～ 平塚らいてうと保持研 南湖院と表現の日々 ～

【第一部：結核療養所 南湖院の開設】

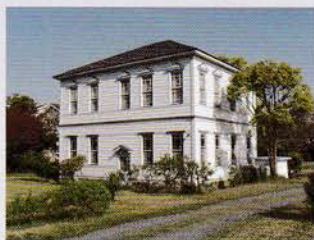
1899年、高田畊安によって結核療養所「南湖院」が設立されました。読み方は「なんごいん」ではなく、「なんこいん」。畊安が濁音を避けたことから、このように名付けたとされています。畊安の信念と理念により運営された南湖院は、やがて「東洋一のサナトリウム」と呼ばれる規模と設備を有するようになりました。ここには詩人、画家などの著名人が入院したり見舞いに訪れたりして、後に茅ヶ崎や南湖院にまつわる作品を残していきました。その残された作品や南湖院に関係する人物たちをとおして、当時の茅ヶ崎や南湖院を紹介します。



南湖院全景



高田畊安



現存する旧南湖院第一病舎

【第二部：平塚らいてうと保持研】

女流文芸雑誌『青鞆』を発刊した平塚らいてうは茅ヶ崎、南湖院との関係が深く一時は青鞆の編集を茅ヶ崎で行っていました。また『青鞆』発刊において、らいてうの背中を押した保持研は南湖院の職員であり、青鞆に俳句を掲載する俳人でもありました。青鞆社のメンバーは世間から「新しい女」と揶揄され、世間からは冷ややかに見られていました。そんな女性達の茅ヶ崎・南湖院での生き方は、どのようなものだったのか、残された作品や当時のエピソードを通じて紹介します。



平塚らいてう 写真提供：奥村直史



保持研 写真提供：生田夏樹



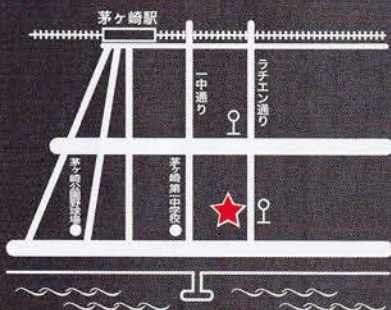
『青鞆』第一巻 一号 表紙



『青鞆』第二巻 九号 表紙



『青鞆』第六巻 二号 最終号表紙



会 期 令和4年10月28日(金)～令和5年3月26日(日)
 会 場 茅ヶ崎ゆかりの人物館 〒253-0054 茅ヶ崎市東海岸南6-6-64
 開館日 会期中の毎週金・土・日及び祝日
 開館時間 10:00～16:30 (入館は閉館30分前まで)
 観覧料 200円 (18歳未満及び高校生以下無料)
 (茅ヶ崎市開高健記念館との共通観覧料300円)
 お問い合わせ Tel 0467-81-5015 (茅ヶ崎ゆかりの人物館)